

## World Prayer and Share Letter



とりなし手の皆様へ

### 世界のための祈り

チャールズ&ダイアン・グリコ



#### 次期米大統領、バラク・オバマ氏のための祈り

■黒人の大統領が選ばれたことは、黒人にとって良く、白人にとっても良いことです。ですから今この時においては、すべてのアメリカ人にとって良いことなのです。（将来については誰にも分かりません）この事によって、より多くの黒人の人たちは、自分は完全にアメリカ人だと感じるでしょうし、アメリカの白人は人種差別的だと言う黒人たちはより少なくなるでしょう。アメリカのクリスチャンや保守的な人たちは、オバマ氏の民族的背景には反対しておらず、むしろ彼が選出されたことは、アフリカ系アメリカ人に癒しをもたらすことを喜んでいます。しかし、オバマ氏の妊娠中絶や、家族や結婚に関するリベラルな政策がアメリカ合衆国の道徳への妨げになるのではという真剣な憂慮を抱えていることも事実です。カリスマ的リーダー、ダッチ・シーツ氏は次のように述べました。「この選挙結果は、アメリカで劇的な覚醒や究極的な改革を見ることができると私の信仰を揺るがすことはありませんが、私たちは大きな痛みと損失を経てこれを手に入れることになるでしょう。神様への動かぬ信頼に立ち、自分たちを再編成して、改革を起こすために神様に戦略を求めなければなりません。」（2008年11月6日ダッチ・シーツ氏の声明）

（編集者注：私はオバマ氏に投票しませんでした。しかし2009年1月20日の就任式の後、彼は私たちアメリカ国民の大統領になります。オバマ氏が大統領として成功しようとしまいと、私たちは信者として神様から、権威者のために祈るよう命じられています。私たちがこれを忠実に行なうなら、「王を立て、王を退ける」私たちの神様はリーダーの心を、ご自身の地上における永遠の目的に合うものと変えられるでしょう。）

#### 伝道者ビリー・グラハム氏の90歳の誕生日祝い!

■2008年11月7日、ビリー・グラハム氏は主への献身の人生を祝いました。1949年、ロサンゼルスで国際的に有名になって以来、世界中でイエス・キリストの福音を広げるために約60年間費やしてきました。グラハム博士の息子フランクリン・グラハム氏は、現在、家庭をいかに「福音宣教センター」に変えるかと、世界中で信者を訓練しています。彼が率いているグラハム福音宣教団体のために引き続きお祈りください。（\*CBNクリスチャン・ワールド・ニュース（2008年11月7日付）より）

#### 国連で「異教徒間」の会合

■サウジアラビアのアブダラ王が「異教徒間」の会合を後援した理由は、「異なった信仰や文化に橋を架けることを希望したもので、『諸宗教の中傷との戦い』と呼ばれる決

議案を示すため」とのことです。（これはある人々には少々滑稽に思われます。というのも、サウジアラビアは、ワハビ系イスラム教以外のあらゆる宗教活動を禁じているからです。）

アメリカの宗教的自由団体「オープン・ドアーズUSA」の代表カール・メラー氏は述べています。「サウジアラビアには宗教的許容はまったくありません。そこはイスラム世界の中でも、クリスチャンや他の宗教に対する最もひどい迫害国です。アブダラ王の決議案は、イスラム教国に、イスラム教を否定する者を迫害することを合法的に認める地球規模の「言論統制」のようなもので、それはまた、イエス様に祈ったり礼拝したり、信仰を近隣の人に分かち合ったりすることを、攻撃だと解釈しかねません。

アメリカ法と正義センターのジェイ・セキュロー氏は、この決議案はイスラムに特別な立場を与えるように考案されていると信じています。そして、「結局のところ、これには宗教の自由を遵守するものは何もなく、そのなすところと言えば、イスラムを非難から引き離し、擁護することです。」（イエス・キリストに従う者に、世界規模の迫害をもたらすであろう国連決議に影響を与えるあらゆる偽りの霊に対して祈りましょう。）

#### 主を賛美します! カストロ政権にもかかわらず、キューバの教会は成長しています!

■共産主義国であるキューバで、教会は50年間の迫害を受けてきました。独裁者のフィデル・カストロは、無神論が国教であると宣言し、クリスチャンは逮捕され、時には殺されました。近年、キューバは緩和してきており、教会はもっと自由に礼拝できるようになっています。今日、新しい革命がキューバを吹き抜けていますが、それは政治上のものではありません。

2008年6月にジョルグリン市で行なわれた2夜にわたるクリスチャン・コンサートに1万人のキューバ人が参加しました。そのようなイベントはまだ珍しいのですが、10年前ではそういうことは全く許可されませんでした。キューバ人クリスチャンは、祈りこそが自分達の国に大きな違いをもたらしているのだ、と言っています。（CBNクリスチャン・ワールド・ニュース（2008年10月28日付）迫害を受けている世界中のキリストの体である兄弟姉妹のために祈り続けましょう。）

怖ろしい状況：経済恐慌が世界中に蔓延している中、私たちは信者として、私たちの現実であるキリストを認識しなければなりません。そして、怖ろしい状況は神様の約束を破ることはできないことを私たちは知っています!この騒然とした「終わりの時代」に揺るがない安全な岩としてキリストを受け入れていない人のために祈りましょう。彼らこそが最も困窮しているのです。■